

変形性膝関節症の 軟骨欠損に対する 新しい治療法

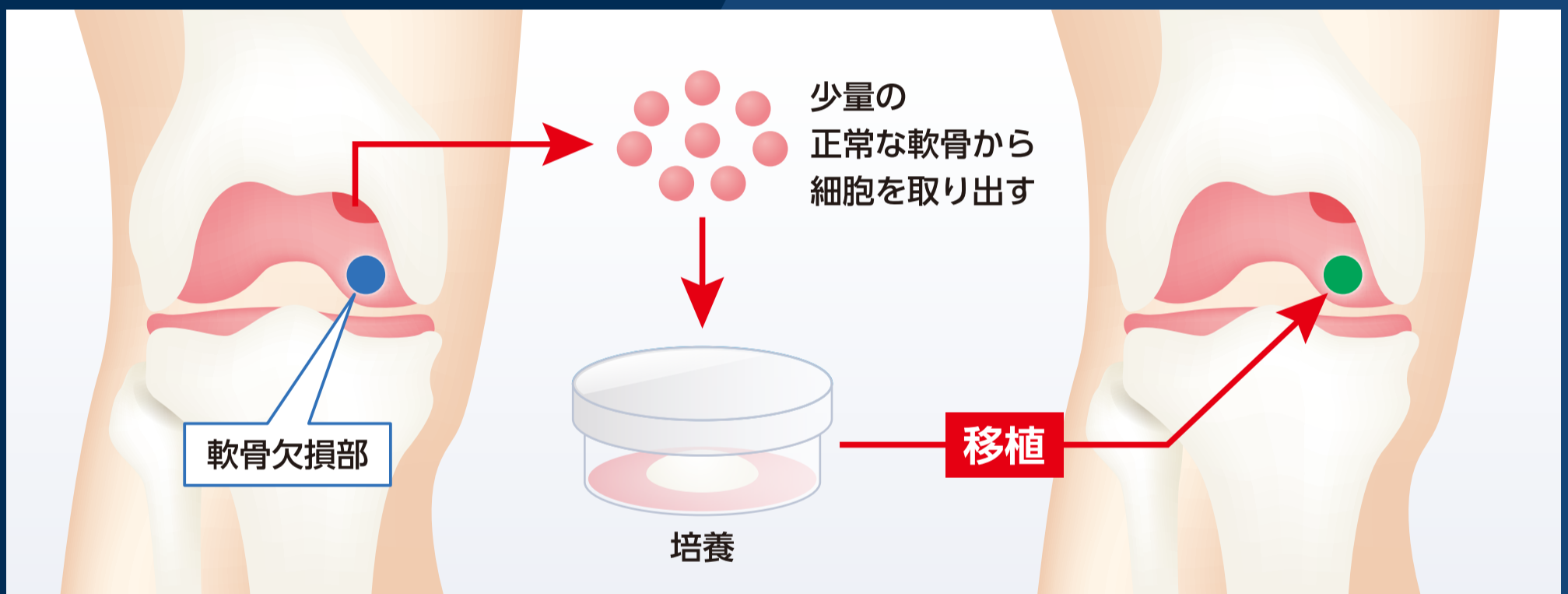
自家培養*軟骨移植術

*じかばいよう：患者さん自身の細胞を増やす

自家培養軟骨移植術とは？

患者さんご自身の正常な軟骨から細胞を採取し、専門施設で培養して数を増やした後、損傷部位に移植する治療法です。

2013年より保険適用となり、全国の医療機関で実施されています。



三重県立総合医療センター
整形外科部長
北尾 淳 先生

担当医より患者さんへ

Message from the doctor

【治療の対象となる患者さんの症状】

- 外傷性軟骨欠損症（スポーツや事故による損傷）
- 離断性骨軟骨炎（若年層のスポーツなどによる繰り返しの負荷で軟骨と骨が剥離する疾患）
- 変形性膝関節症（加齢・肥満・外傷などによる広範囲にわたる軟骨損傷）
（早期から中期に限られます）
（重度の変形には使用できません）

メリットは、患者さん自身の細胞を使用するため拒絶反応がほとんどないことと、移植部を欠損するまえの状態に近づけることで痛みなどの症状の緩和や関節の動きの改善が期待できます。

ご自分の膝を温存することで、我慢することないアクティブな毎日を取り戻しませんか。お気軽にご相談ください。

治療に関する
詳しい情報はこちら

